

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 経営課長 黒目浩喜・施設課長 領家信介 電話番号 0852-22-6645、6642

事務事業の名称	県営水道用水供給事業	
目的	(1) 対象	受水市及びその住民
	(2) 意図	ライフラインである水道の安定供給により、安全で安心できる快適な居住環境を実現する
事業概要	受水団体（松江市、安来市、出雲市、雲南市、大田市、江津市）に良質で安全な水道水を給水制限を発生させることなく安定的に供給する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	給水制限日数	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	日
			取組目標値					
	式・定義	関係市に対し給水制限した日数の合計	実績値	0.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
			取組目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	4,202,715	2,965,201
うち一般財源 (千円)	16,432	15,395

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成27年度における関係市に対して事故や故障による給水制限を行った日数は0日であった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

平成27年度においては、事故や故障による給水制限を行うことなく、安定的に供給した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

水道用水の安定供給には老朽化した施設の更新や耐震対策が必要

②困っている状況が発生している「原因」

施設の老朽化

③原因を解消するための「課題」

施設の老朽化対策

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

施設の老朽化対策については、アセットマネジメント手法を用いて施設管理基本計画（保守・点検・修繕・更新）を策定し施設の長寿命化を図りつつ必要な修繕改良を行い、安定的な給水を継続していく。これらの実施にあたっては受水団体への説明を十分行い、理解を得ながら進めていく。

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）